

3号機および4号機の最大加速度地震計(中央制御室表示用地震計)の 動作不良について(続報:正常動作状態への復旧)

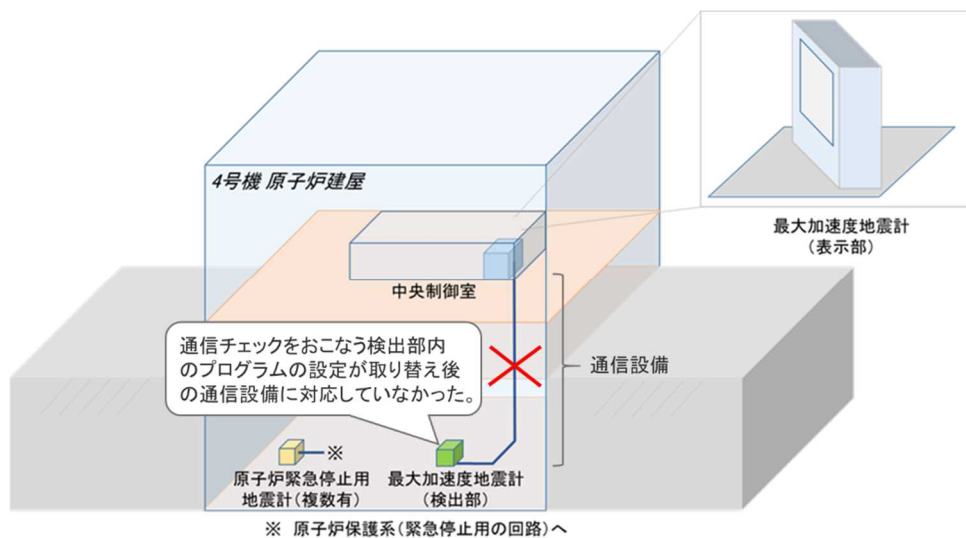
2022年9月9日

当社は、動作不良により2022年7月28日から地震加速度の表示ができなくなっていた3号機および4号機の最大加速度地震計(中央制御室表示用地震計)(注1)の点検を完了し、正常動作状態に復旧したことからお知らせします。

動作不良の原因は、最大加速度地震計の検出部から中央制御室の表示部への通信エラーであり、この通信エラーは、2022年5月に3号機および4号機の最大加速度地震計の一部を取り替えた際、通信チェックをおこなう検出部内のプログラムの設定(検出部の製造時に設定)が取り替え後の通信設備に対応していなかったために発生したものです。

今後、最大加速度地震計の製造メーカーと連携し、再発防止に努めてまいります。

注1 最大加速度地震計とは、中央制御室に最大加速度を表示する機能を有している地震計をいいます。これとは別に、原子炉緊急停止用として、原子炉緊急停止用地震計を設置しています。



事象の概要図(4号機最大加速度地震計の例)

<これまでお知らせした内容>

■浜岡原子力発電所 3、4号機中央制御室における地震加速度表示および関連する運用の見直しについて
([2022年6月1日お知らせ済み](#))

■3号機および4号機の最大加速度地震計(中央制御室表示用地震計)の動作不良について
([2022年7月29日お知らせ済み](#))

以上